

(別添7)

事業所名 グループホームこもれびの里

2 目標達成計画

作成日: 令和3年 3月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害などの災害時に、昼夜を問わずに施設職員や地域住民の方達との協力体制を整えて、安全にご利用者様の避難を行うことができる。また、新型コロナウイルスなどの感染症の感染拡大を防止するために、施設全体で、対応策を習得して実践ができる。	①火災や災害の発生時に、迅速に施設内や職員・地域住民との連絡が取れて、安全にご利用者様の避難を行うことができる。②新型コロナウイルスなどの感染対策を継続して、職員やご利用者様の感染拡大を防止することができる。	①火災や災害の発生時に、地域住民に協力を頂けるように、定期的な話し合いや相談がしやすい関係づくりを構築する。施設で行う定期的な訓練に、職員や地域住民の方の参加をお願いする。②新型コロナウイルス等の感染症の拡大防止の対応方法を確立し、実践をする。(マニュアル作成をし、定期的な見直しを行う。)	12ヶ月
2	36	事業所の理念に掲げて、定期的に権利擁護についての研修を行っている。ご利用者様の人権や誇りを損うことがないように、ご家族様やご本人様が安心して、生活を送ることができる環境を整えることができる。	職員間に、権利擁護についての意識を定着させるために、定期的な研修会を開催する。	①権利擁護についての研修計画を作成します。②高齢者虐待や権利擁護について、研修計画に沿った内部研修会を開催します。③事例検討会やグループワークなど、日々のケアの振り返りができる機会をつくります。④外部研修に、各々の職員が参加できる機会をつくります。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。